

=====  
◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.8 ◇◆  
2009年4月28日号  
=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート  
ー子ども・女性安全対策専従班について～現場と研究の連携～
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング  
平成20年度一番注目されたコンテンツとは・・・

-----  
1. 犯罪からの子どもの安全レポート  
-----

皆さん、こんにちは！

満開の桜も人々に惜しまれつつも潔く散り、すがすがしい新緑の季節がやってきました。大型連休突入！という方、カレンダー通り、GWも仕事だ～という方、さまざまかと思いますが、穏やかな晴天に恵まれると、つついどこかに繰り出したくなりますね。

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域も今年で3年目となり、最後の公募を迎えますので、新たな企画を検討するなど、全力投球でいきたいと思っております。

先日、メルマガの臨時号でもお知らせしましたが、今年度の提案募集が4月14日から始まりました。以下のページより、募集要項の入手や、詳細の情報をご覧になれます。

<http://www.anzen-kodomo.jp/program/>

提案をする上で、このプログラムでは何が求められているのか、皆さんも気になるところかと思えます。そこで、領域担当が片山領域総括にインタビューし、提案をする上でのポイントを探ってきました。近々、WEBトピックスに掲載予定ですので、こちらも合わせてご覧ください。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

既存の研究開発プロジェクトでも、さまざまな活動・展開がくり広げられています。今回、特に注目なのは2つの研究開発プロジェクト。

「子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発」プロジェクトでは、子どものネット遊びにより犯罪に巻き込まれる子どもを守るため、ネットを見守り、啓発活動を行う市民インストラクターや、生徒と直接向い合う学校教員といった方々を支援するためのシステム開発を行っています。

この半年間で開発したシステムの第一次発表会を開催するという事で、サイトビジットに行ってきましたが、ユーザーである市民インストラクターの方々をはじめ、早速いろいろな、そしてハイレベルな提案がなされるなど、今後の研究開発にとって大変有意義な会だったと思います。新聞各社でも紹介され、反響も大きいようです。配布資料がWEBに掲載されていますので、是非、ご覧ください。

プロジェクトの詳細はこちら→

[http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/h\\_shimoda.html](http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/h_shimoda.html)

「さくらポリス」

この響きを、最近皆さんも耳にしたことがあるのではないのでしょうか？「子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立」プロジェクトでは、プロジェクト成果の社会還元に向けて、新たな展開が生まれているようです。国の取組みも含め、これは皆さんにもお伝えしたいと思い、今回のレポートで取り上げています。

どうぞお楽しみに！

-----【訂正とお詫び】-----

前号に掲載した「犯罪からの子どもの安全クイズ！」の解答に誤りがございました。

以下の問題について解答を「c. 40,000件台」とお伝えしましたが、正しくは「b 10,000件台」です。

お詫びして訂正いたします。

4. 平成20年1～10月中に、インターネット・ホットラインセンターで受理した インタネット上の違法情報・有害情報の月平均通報件数は？  
a 5,000件台 b 10,000件台 c 40,000件台 d 80,000件台



●子ども・女性安全対策専従班について～現場と研究の連携～

1月号のメルマガで紹介したように、昨年末に、国としての犯罪対策の  
ページ(2)

指針として、「犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008」  
( <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/081222keikaku2008.pdf> ) が  
打ち出されました。子どもの安全についても少なからず示されています。

警察庁では、子どもと女性を性犯罪から守り、検視体制を強化するために、  
今春、地方警察官が約1,000人増員されました。警視庁では生活安全総務課に  
「子ども・女性安全対策専従班」その名も“さくらポリス”を発足。

各都道府県警でも同様の動きがあり、子どもや女性に対する声掛けや  
つきまといなどの行為を摘発し、性犯罪を未然に防ごうというものです。  
実際に子どもへの声掛けなどの事案があった場合は、情報を集約して、  
周辺に類似の事案がないかなどを分析したり、聞き込みや張り込みを  
行ったりして、摘発につなげるとのこと。

さくらポリスの名前の由来は、どうやら花言葉にあるようです。桜の  
花言葉「あなたにほほ笑む」のように、都民に安心してもらえるよう  
活動していくとの思いが込められているとのこと。

専従班は56人で構成されています。うち、16人は女性警察官で、  
その中には、心理学やDNA鑑定を学んだ、性犯罪捜査員の指定を受けた  
プロの方だそうです。

先日、当領域の研究開発プロジェクトの一つ、  
「子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤」  
( [http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/y\\_harada.html](http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/y_harada.html) ) の  
代表者が所属する科学警察研究所犯罪予防研究室に、上記専従班より、  
当該プロジェクトの成果を含む、子どもの被害防止について教えてほしい  
との依頼がありました。

被害実態を把握することの重要性から始まり、犯罪学の理論や分析方法、  
各国の被害防止対策など、みっちり二日間講義を実施。現場警察官の声を  
直に聞くこともでき、また、実態に基づいた対策の重要性が共通見解として  
得られたとのこと。今後の連携についても検討が進められているようで、  
現場のニーズをくみ上げたよりよい成果の創出に期待が高まります。

警視庁のメルマガ情報によると、警視庁管内でも、子どもへの不審者の  
声かけが増加している様子。犯罪の認知件数が減少傾向を示している中、  
内閣府の社会意識調査によると、治安が「悪い方向に向かっている」と  
感じている人は、30%に上り、「良い方向に向かっている」を10%上回って  
いました。

警察の新しい取り組みやプロジェクトの成果が子どもの安全に結びつき、  
より住み良い社会になることを期待しましょう。

(領域担当 S.F., N.A.)

---

## 2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

---

### 【更新情報】

#### ●国の取組み

平成21年版「少子化社会白書」公表 (内閣府)

ページ (3)

\* 児童虐待についても記載されています。  
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/whitepaper/index-w.html>

第3回児童の性的搾取に反対する世界会議における成果文書について（警察庁）  
[http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen28/jidou\\_seitekisakusyu\\_3th.pdf](http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen28/jidou_seitekisakusyu_3th.pdf)

「ふるさとケータイ創出推進事業」に係る提案の公募開始（総務省）  
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02kiban02\\_000005.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban02_000005.html)

少年矯正統計（平成21年2月分公表）（法務省）  
<http://www.moj.go.jp/TOUKEI/ichiran/index.html>

法制審議会民法成年年齢部会第12回会議議事録（法務省）  
<http://www.moj.go.jp/SHINGI2/090226-1.html>

平成21年度児童福祉週間における行事等について（厚生労働省）  
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/04/h0421-2.html>

その他の取組みについてはこちら  
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

## ● イベント情報

平成21年5月16日～17日 日本赤ちゃん学会 第9回 学術集会  
「地域で育む赤ちゃん学・いのちの始まりと育ちを支える科学」  
<http://www.crn.or.jp/LABO/BABY/SCIENCE/index.html>

平成21年5月20日 日本自治体危機管理学会 2009年度の総会・研究大会  
<http://www.jemaweb.org/index.html>

平成21年5月30日 日本教育メディア学会 2009年度第1回研究会  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>

平成21年6月19日 都市防犯研究会 講演会  
「環境犯罪心理学の視点と都市計画への展望」  
<http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/20090619.pdf>

平成21年6月19日 警察政策学会 第12回シンポジウム  
「ネット社会の課題」ーサイバー空間に潜む危険と安全対策ー  
<http://www.asss.jp/>

平成21年7月4日～5日 日本子ども社会学会 第16回 学会大会  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscs2/>

その他のイベントについてはこちら  
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



【今月の見どころ】

今月の見どころは、トピックスから近日公開予定の「平成21年度提案募集開始企画」です。

これは、平成21年度の提案募集開始にあたり、片山領域総括に「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域の過去・現在・未来について伺いました。

平成21年度の提案募集についてのメッセージも含まれているので、ぜひご覧ください。

トピックス → <http://www.anzen-kodomo.jp/column/>

---

### 3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

---

#### 【アクセスランキング】

今号では、平成20年度年間ランキングをお届けします。

<人気のあるページ>

- ☆1位 研究開発プログラム  
<http://www.anzen-kodomo.jp/program/>
- 2位 国の取り組み  
<http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>
- 3位 イベント情報  
<http://www.anzen-kodomo.jp/event/>

<ダウンロードの多かったファイル>

- ☆1位 プロジェクト実施者インタビュー 第1回  
<http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/int01.pdf>
- 2位 第1回シンポジウムのまとめ  
[http://www.anzen-kodomo.jp/reporters/pdf/h19\\_1\\_sympto\\_matome.pdf](http://www.anzen-kodomo.jp/reporters/pdf/h19_1_sympto_matome.pdf)
- 3位 安全安心に係る新規研究開発領域の概要  
<http://www.anzen-kodomo.jp/profile/pdf/ind01.pdf>

\*\*\*\*\*

「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

- ▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら  
<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>
- ▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら  
[c-info@anzen-kodomo.jp](mailto:c-info@anzen-kodomo.jp)

■発行日 2009年4月28日

■発行元  
(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域  
領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>  
社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>

\*\*\*\*\*